

令和2年度当初予算案 事業別概要

1	項目名	事務局庁舎空調設備等修繕
---	-----	--------------

年 度	令和2年度
-----	-------

担当課
総 務 課

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	一般管理費

事業の概要

1 事業概要

事務局本庁舎は、本組合が平成7年に現建屋(昭和52年度竣工)を取得・改修し、事務局執務室等として活用するとともに、平成11年には、共同処理事務の増加に伴い利便性の向上等を図るため、事務局分庁舎を竣工し現在に至っている。

近年、建屋(空調設備等)の老朽化による影響(不具合)が生じている状況を踏まえ、今後の庁舎管理等を見据え、事務局庁舎の適正な維持管理に必要な修繕対応を行う。

【事務局庁舎 空調設備修繕】

- 令和2年度 本庁舎(2階・3階)空調設備修繕費 < 13,835千円 >
- 令和3年度 本庁舎(1階)・分庁舎空調設備修繕費 < 12,881千円 >

【事務局庁舎 外壁等修繕】

- 令和4年度 本庁舎外壁、分庁舎外壁・屋上防水修繕費 < 13,981千円 >

(単位:千円)

令和2年度予算額	13,835
令和元年度予算額	0

(単位:千円)

区 分		金 額
財 源 内 訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	10,300
	その他	
	市町負担金	3,535
計		13,835

2	項目名	廃棄物処理施設 インフラ長寿命化計画策定業務
---	-----	------------------------

年度	令和2年度
----	-------

担当課
福祉環境課

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	①不燃物処理費
	②し尿処理費
目	①環境クリーンセンター管理費
	②施設管理費

事業の概要

1 事業概要

国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づき各省庁が策定した「インフラ長寿命化計画（行動計画）」を踏まえ、市町村及び一部事務組合は、令和2年度までの「インフラ長寿命化計画（行動計画）」の策定を求められている。なお、環境省は廃棄物処理施設（最終処分場を除く）を策定の対象と位置付けており、長期的視点での適正な施設管理を図るうえからも当該施設に係る長寿命化計画を策定する。

[長寿命化計画策定業務委託費]

- ①環境クリーンセンター（不燃物処理施設）〈 5,385千円 〉
- ②因幡浄苑（し尿処理施設）〈 6,459千円 〉

（単位：千円）

令和2年度予算額	11,844
令和元年度予算額	0

（単位：千円）

区 分		金 額
財源内訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	市町負担金	11,844
計		11,844

3	項目名	因幡浄苑 凝集膜分離装置等修繕
---	-----	-----------------

年度	令和2年度
----	-------

担当課
福祉環境課

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	し尿処理費
目	施設管理費

事業の概要

1 事業概要

因幡浄苑での処理工程において基幹設備である凝集膜分離装置は、経年劣化等に
 伴い、集水軸及び膜の損傷が著しいことから、処理水に影響が生じないようこれらの取
 替修繕を行う。

また、併せて、施設処理水槽のうちアンモニア(窒素)の影響によりとりわけ腐食の進
 行が激しい、し尿投入槽及びし尿貯留槽の防食塗裝修繕を行い、施設の適正な運転管
 理を図る。

○凝集膜分離装置修繕費 1台 〈 42,570千円 〉
 ～全3台のうち2台は令和元年度修繕対応済み

○し尿投入槽及びし尿貯留槽防食塗裝修繕費 〈 54,653千円 〉

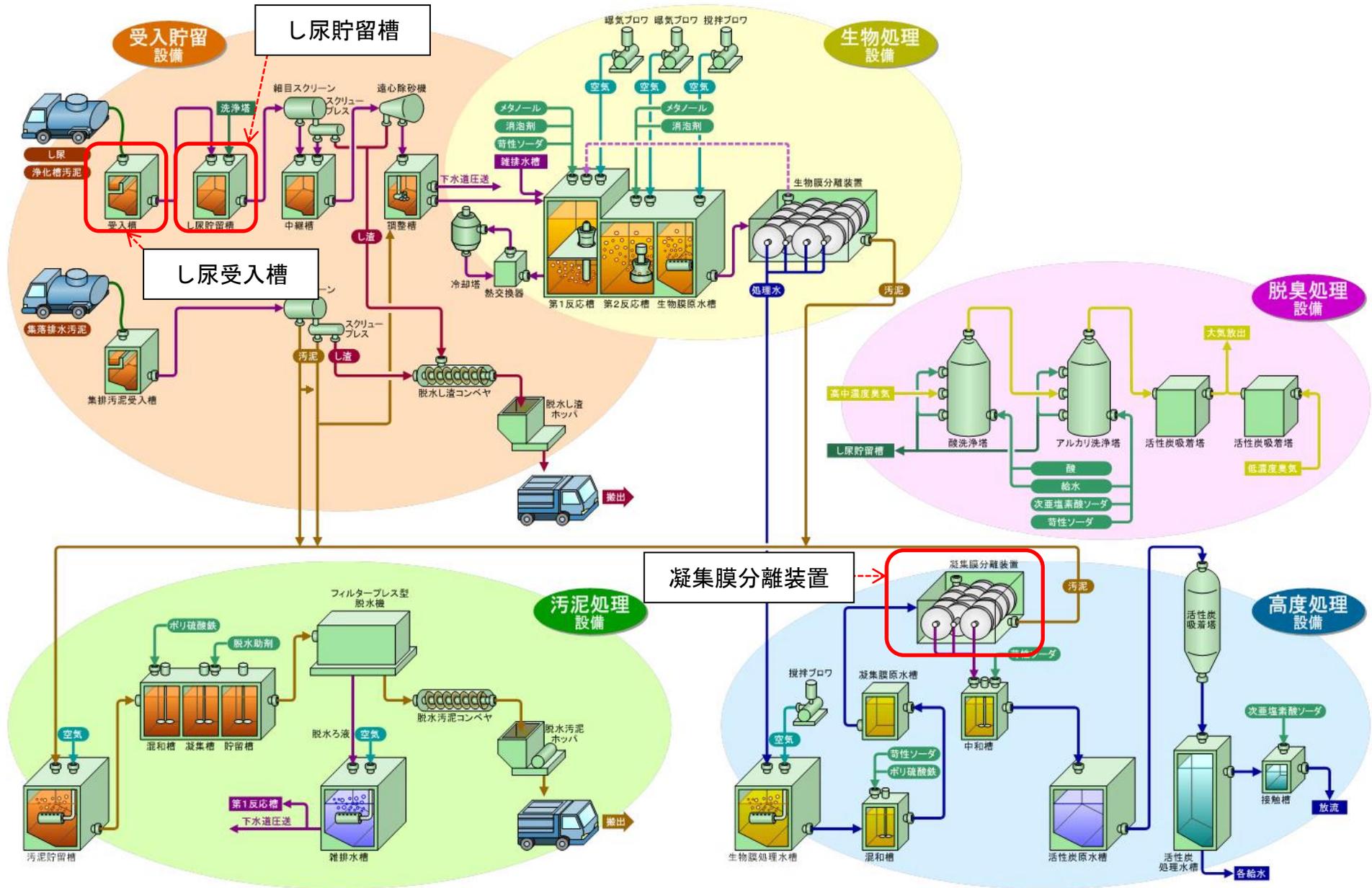
(単位:千円)

令和2年度予算額	97,223
令和元年度予算額	86,526

(単位:千円)

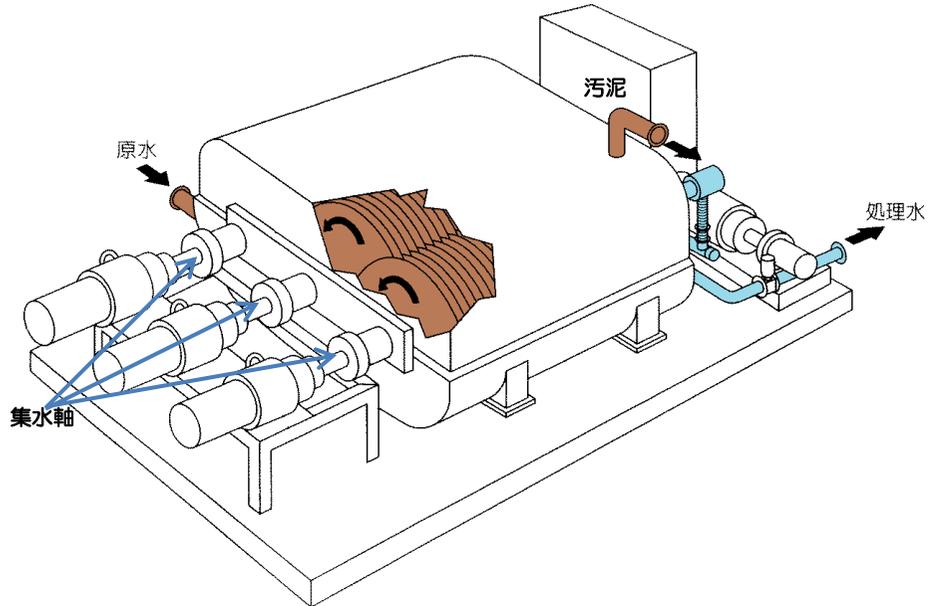
区 分		金 額
財 源 内 訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	72,800
	その他	
	市町負担金	24,423
計		97,223

《因幡浄苑処理フロー図》



因幡浄苑凝集膜分離装置修繕

名称	設置台数	常時稼働台数	主な目的	交換周期	令和2年度交換台数
凝集膜分離装置	3台 (集水軸 3本/台、 凝集膜 100枚/台)	2台	色素・COD・リン等のろ過	約5～6年ごと (令和元年度に2台交換)	1台



<膜装置イメージ図 (凝集膜)>



<膜装置内部写真>

因幡浄苑し尿受入槽及びし尿貯留槽修繕

名称	寸法・容量	腐食状況	
し尿受入槽	<p><寸法> L = 6.15m W = 9.0m H = 2.5m</p> <p><容量> 138.38 m³</p>	 <p data-bbox="929 810 1086 847">塗装剥離 1</p>	 <p data-bbox="1601 810 1758 847">塗装剥離 2</p>
し尿貯留槽	<p><寸法> L = 7.55m W = 15.3m H = 3.5m</p> <p><容量> 404.30 m³</p>	 <p data-bbox="891 1390 1151 1426">壁塗装・配管腐食</p>	 <p data-bbox="1592 1390 1787 1426">天井塗装剥離</p>

4	項目名	可燃物処理施設建設事業
---	-----	-------------

年度	令和2年度
----	-------

担当課
施設建設課

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	可燃物処理費
目	ごみ処理施設建設費

事業の概要

1 事業概要

可燃物処理施設建設工事は、令和元年8月に現地工事に着手し、令和4年7月末の完成を目指し工事を進めているところであり、令和2年度は、現地工事2年目となる。

①工事関連経費〈5,785,614千円〉

- ・(債) プラント建設に係る設計・施工監理委託業務(平成30年度～令和4年度)
- ・(債) 可燃物処理施設建設工事(平成30年度～令和4年度)

②その他経費〈39,745千円〉

- ・環境影響評価事後調査業務
- ・施設周辺管理業務 等

(単位:千円)

令和2年度予算額	5,825,359
令和元年度予算額	1,360,676

(単位:千円)

区 分		金 額
財 源 内 訳	国庫支出金	2,270,000
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	市町負担金	3,555,359
計		5,825,359

可燃物処理施設建設工事に係る年度別事業費及び組織市町負担金

1. 年度別事業費

(単位:千円、税込)

区分	事業費						
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
①敷地造成工事費	208,000	346,680	238,627				793,307
市町負担金	208,000	346,680	238,627				793,307
②建設工事費			985,500	5,718,600	11,777,400	2,168,100	20,649,600
国庫支出金			460,236	2,262,000	4,082,000	680,000	7,484,236
市町負担金			525,264	3,456,600	7,695,400	1,488,100	13,165,364
③設計監理及び施工監理等委託費		16,265	59,984	67,014	69,109	9,028	221,400
国庫支出金			2,301	8,000	8,000	0	18,301
市町負担金		16,265	57,683	59,014	61,109	9,028	203,099
④関連工事費	25,909		4,923				30,832
市町負担金	25,909		4,923				30,832
事業費計	233,909	362,945	1,289,034	5,785,614	11,846,509	2,177,128	21,695,139
市町負担金合計	233,909	362,945	826,497	3,515,614	7,756,509	1,497,128	14,192,602

※国庫支出金は見込額。

2. 組織市町負担金 (概算)

(単位:千円、税込)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
市町負担金	233,909	362,945	826,497	3,515,614	7,756,509	1,497,128	14,192,602
鳥取市	200,635	310,935	707,564	3,007,784	6,636,081	1,280,868	12,143,867
岩美町	10,012	15,716	35,747	153,281	338,184	65,275	618,215
智頭町	6,105	9,418	21,530	90,527	199,730	38,551	365,861
若桜町	2,853	4,483	10,165	43,066	95,017	18,340	173,924
八頭町	14,304	22,393	51,491	220,956	487,497	94,094	890,735

※令和3年度以降は、令和2年度当初予算の負担割合で試算

3. 備考

運営管理費の組織市町の負担割合については、今後東部広域負担金条例で定める。

運営管理費見込：664,400千円/年(消費税込(10%)) ※消費税率変更に合わせて運営管理費は見直されます。

5	項目名	消防庁舎 新築事業
---	-----	-----------

年度	令和2年度
----	-------

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位:千円)

令和2年度予算額	281,463
令和元年度予算額	389,227

(単位:千円)

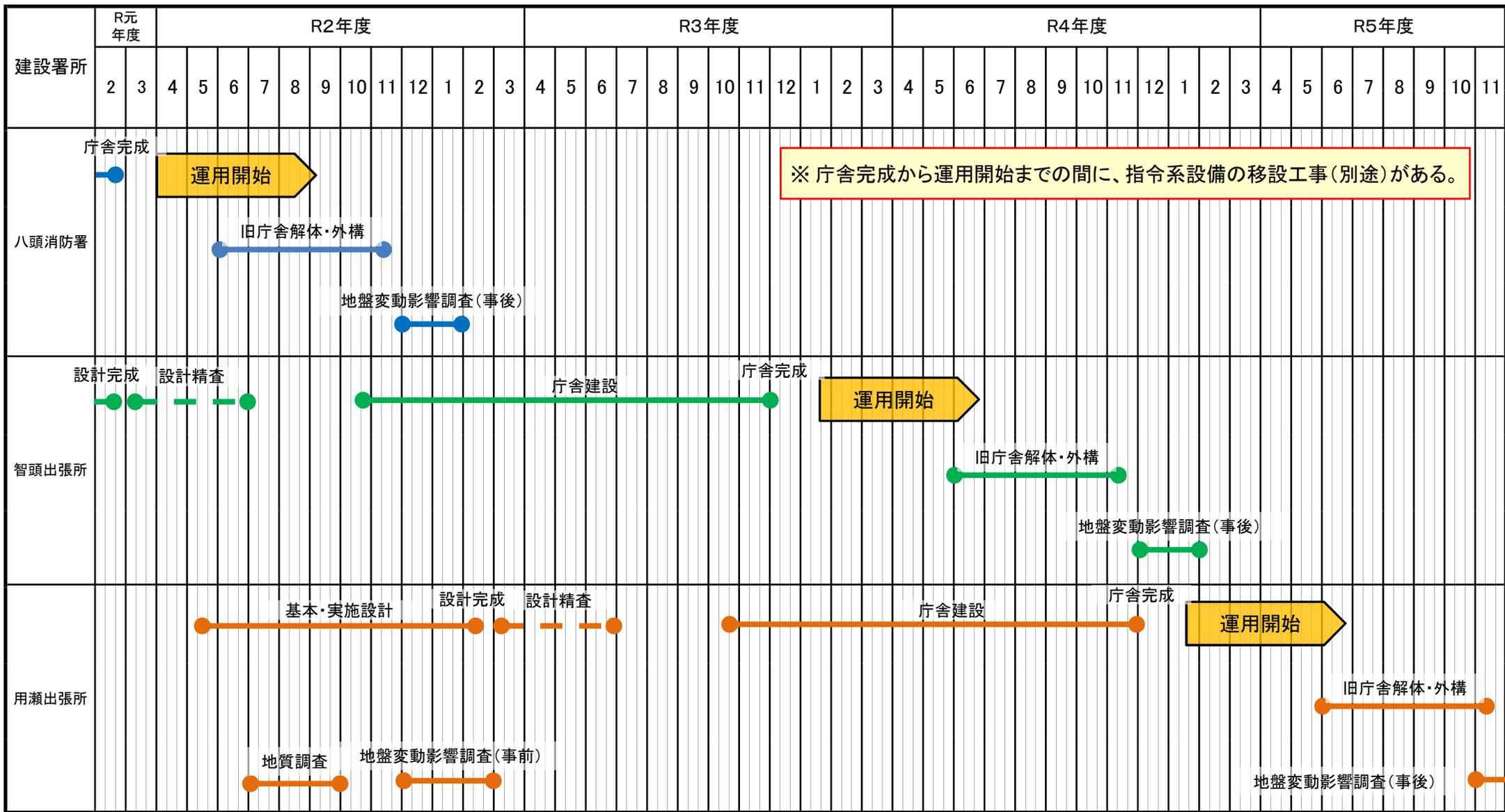
区分		金額
財 源 内 訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	196,400
	その他	
	市町負担金	85,063
計		281,463

担当課
消防総務課

事業の概要
<p>1 事業概要</p> <p>消防庁舎の老朽化及び耐震不足を解消するため、本組合消防庁舎整備基本方針に基づき、年次的に消防庁舎の新築整備を行う。</p> <p>【八頭消防署】(構造)RC造2階建 (延面積)992.23㎡</p> <p>①委託業務費 < 5,665千円 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤変動影響調査(事後調査)業務 <p>②工事費 < 38,315千円 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外構工事、旧庁舎解体工事 <p>【八頭消防署智頭出張所】(構造)RC造平屋建 (延面積)約 650㎡</p> <p>①委託業務費 < 6,370千円 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(債) 工事監理業務(令和2～3年度) <p>②工事費 < 178,026千円 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(債) 新築工事(令和2～3年度) ～ 令和2年度は全体工事費の約4割 <p>【八頭消防署用瀬出張所】</p> <p>①委託業務費 < 53,087千円 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計(基本、実施)業務 ・地質調査業務、地盤変動影響調査業務 <p>2 債務負担行為の設定</p> <p>○事 項 八頭消防署智頭出張所 新築事業費</p> <p>○期 間 令和3年度</p> <p>○限度額 291,153千円(工事監理業務10,059千円/新築工事281,094千円)</p> <p>※[令和2～3年度合計]</p> <p style="text-align: center;">475,549千円(工事監理業務16,429千円/新築工事459,120千円)</p>

庁舎建设工程表(予定)

参考



八頭消防署智頭出張所について

○現消防庁舎

構造：鉄骨造・平屋建
 延床面積：278.25㎡
 敷地面積：661.53㎡
 開設年月日：昭和54年10月1日
 耐用年数：38年
 附属施設：ホースタワー



○新消防庁舎

構造：鉄筋コンクリート造・平屋建
 延床面積：650.57㎡（うち、車庫（資器材庫、消毒室等含む）部分で230㎡、ポンプ室25㎡、身障者用駐車場25㎡）

敷地面積：2,123㎡
 開設予定：令和3年度中
 耐用年数：50年
 附属施設・設備：ホースタワー、身障者用駐車場、給排水設備（井戸及び受水槽、浄化槽、滅菌装置、附属するポンプ）、自家発電設備（燃料用・少量危険物施設）、受電設備、駐輪場、オイルトラップ、救急消毒室、出動準備室、多目的室、相談室

※ 下線部は、現消防庁舎にはない施設及び設備となる。

○工事費

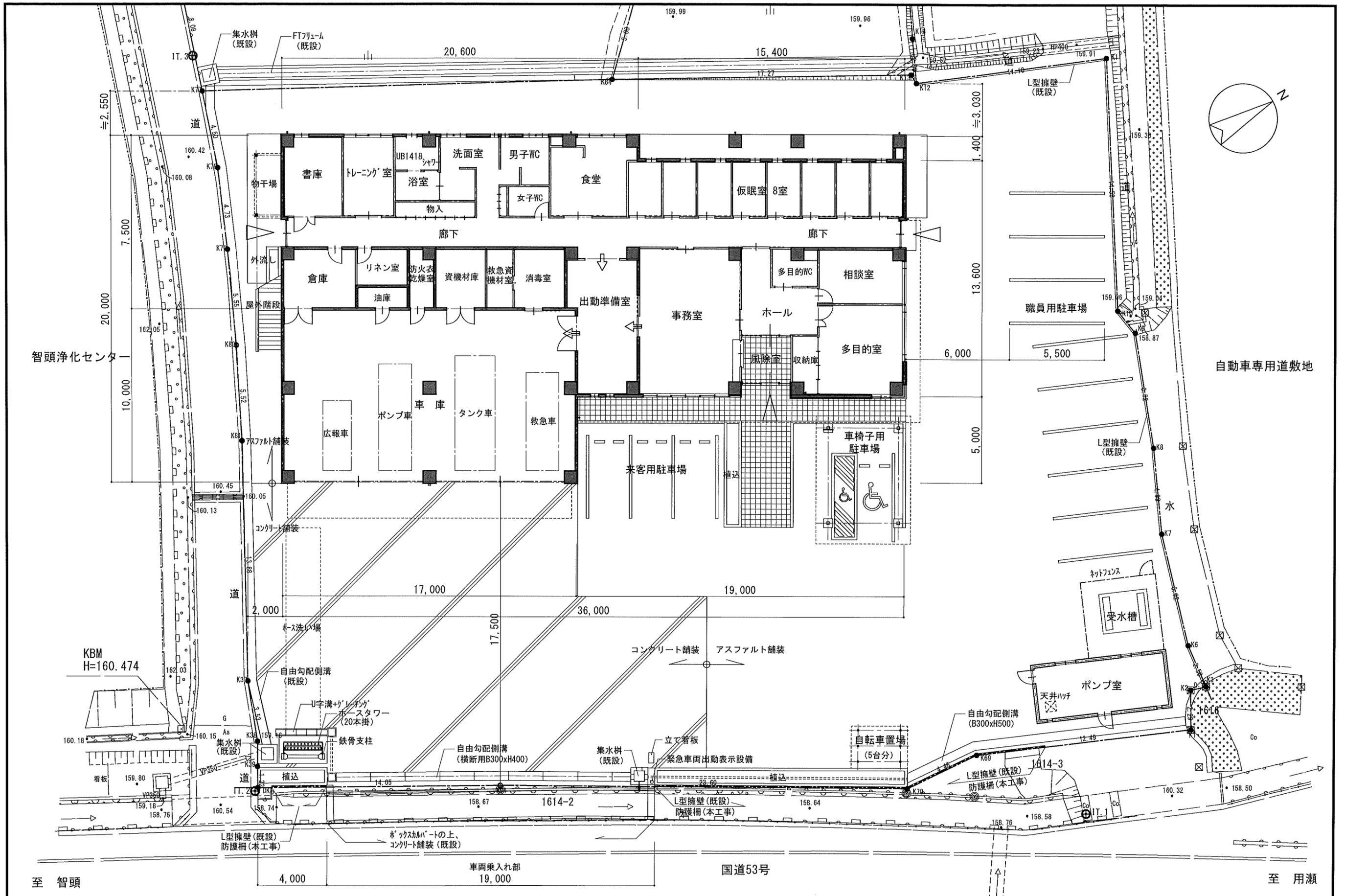
		令和2年度	令和3年度	合計 (円)
工種	建築	103,881,000	164,021,880	267,902,880
	電気	38,283,000	60,447,420	98,730,420
	機械	35,862,000	56,624,700	92,486,700
合計 (円)		178,026,000	281,094,000	459,120,000

○建設工期

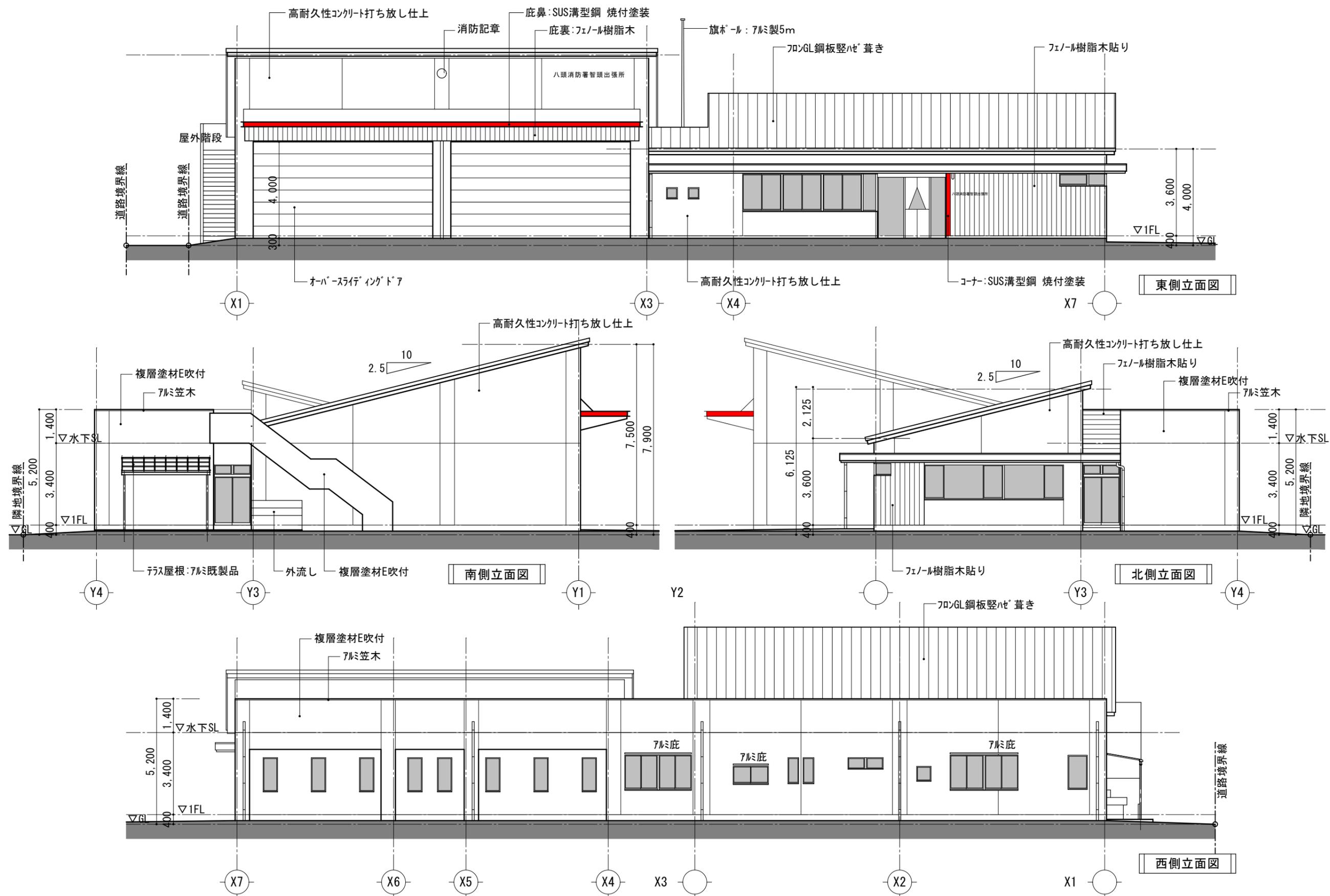
令和2年



(外観予定図)



TITLE	PLAN	SCALE	No.	CHECK	DRAW	DATE
八頭消防署智頭出張所建替えに伴う基本設計	配置図	1/200	A-1	(有) 赤山建築設計事務所	1級建築士登録第220339号 赤山 渉	2019.9.8



TITLE 八頭消防署智頭出張所建替えに伴う基本設計	PLAN 立面図	SCALE 1/150	No. A-16	(有) 赤山建築設計事務所 1級建築士登録第220339号 赤山 渉	CHECK	DRAW	DATE 2019.10
-------------------------------	-------------	----------------	-------------	--	-------	------	-----------------

6	項目名	高規格救急自動車 更新整備
---	-----	---------------

年度	令和2年度
----	-------

担当課
消防総務課

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

事業の概要

1 事業概要

長期間使用により老朽化した車両を年次計画に基づき更新する。

なお、令和2年度は、高規格救急自動車(2台)の更新整備を行い、迅速かつ的確な救急体制の更なる充実を図る。

○高規格救急自動車(高度救命処置用資機材含む) 2台

※うち1台は、災害対応特殊高規格救急自動車(緊急消防援助隊登録車両)とする。

〔鳥取消防署〕平成22年度配備車両の更新 〈36,058千円〉

〔鳥取消防署東町出張所〕平成24年度配備車両の更新 〈36,058千円〉

(単位:千円)

令和2年度予算額	72,116
令和元年度予算額	102,693

(単位:千円)

区 分		金 額
財 源 内 訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	57,400
	その他	680
	市町負担金	14,036
計		72,116

災害対応特殊高規格救急自動車(鳥取消防署・鳥取消防署東町出張所配備予定)

参考ベース車両



7	項目名	消防緊急通信指令システム機器適正化(更新)事業
---	-----	-------------------------

年度	令和2年度
----	-------

担当課
情報指令課

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位:千円)

令和2年度予算額	76,780
令和元年度予算額	59,832

(単位:千円)

区 分		金 額
財 源 内 訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	市町負担金	76,780
計		76,780

事業の概要

1 事業概要

消防緊急通信指令システムは、運用開始して6年が経過する中、令和元年度にはシステム基本OSのサポート終了に伴うセキュリティ対策として、一部機器の更新を行ったところである。令和2年度は、システムの機器適正化に伴う中間更新対応として、令和3年度と併せ年次的に、耐用年数(5年)が経過している機器のうち、障害が生じた場合指令システムに重大な影響を及ぼす危険性がある機器、及び保守部品の調達が困難になる機器について、更新整備を行う。

項目/施行(予定)年度	令和2年度	令和3年度
機器適正化(更新)事業費	76,780千円	60,390千円

消防緊急通信指令システム構成イメージ

※緑字は、令和元年度に実施した「消防緊急通信指令システム長寿命化対応業務委託」で更新済みの機器です。
 ※赤枠は、令和2年度更新予定機器です。
 ※青枠は、令和3年度更新予定機器です。

